

# 13 教育・文化

## 01 児童・生徒の安否確認

被災後、全国各地に離散した児童・生徒の安否確認と避難先の状況把握、就学機会の確保が大きな課題であった。教育委員会と教職員の活動拠点（旧木幡第二小学校に設置）とが連携し、懸命な作業を行った結果、6月下旬に全員の安否と避難先についての確認ができた。不幸にも2名が津波に遭われて亡くなった。

## 02 学校等の被害状況

浪江町には教育関連施設として、小学校6校、中学校3校、幼稚園2カ所、保育園2カ所、児童館1カ所、公民館（分館等含む）7館があり、多くの施設が地震・津波による被害を受けた。

このうち、津波による被害があったのは請戸小学校、浪江児童館、浪江町中央公民館請戸分室の3施設であり、それ以外の施設についても地震によるひび割れや天井の落下など大きな被害を受けた。

■図表 教育関連施設の被害状況

番号	施設名	場所	被害概要	備考
1	浪江小学校	大字権現堂	舗装沈下 コンクリート土間破損 エキスパンションジョイント破損 天井仕上材破損 壁ひび割れ	体育館も被害有り
2	幾世橋小学校	大字北幾世橋	天井仕上材破損 壁ひび割れ	体育館も被害有り
3	請戸小学校	大字請戸	津波による壁・天井仕上材破壊	体育館も被害有り
4	大堀小学校	大字小野田	天井仕上材破損 壁ひび割れ	体育館も被害有り
5	苧野小学校	大字苧宿	外壁ひび割れ	体育館も被害有り
6	津島小学校	大字下津島	天井仕上材破損 外壁ひび割れ	体育館も被害有り
7	浪江中学校	大字川添	エキスパンションジョイント破損 天井仕上材破損 壁ひび割れ	体育館も被害有り
8	浪江東中学校	大字幾世橋	天井仕上材破損 壁ひび割れ 石積み塀倒壊 建具破損 屋根金物破損 床破損	体育館も被害有り
9	津島中学校	大字下津島	エキスパンションジョイント破損 天井仕上材破損 柱ひび割れ 給水配管補修	
10	大堀幼稚園	大字小野田	天井仕上材破損 壁ひび割れ ブロック壁破損 内壁破損 ガラス破損	
11	苧野幼稚園	大字苧宿	天井仕上げ材破損、建具破損	
12	コスモス保育園	大字権現堂	現在調査中	
13	津島保育所	大字下津島	現在調査中	
14	浪江児童館	大字請戸	津波により流出	

番号	施設名	場所	被害概要	備考
15	浪江町中央公民館	大字権現堂	舗装沈下、敷地と建屋のズレ 内壁ひび割れ	
16	幾世橋分館	大字北幾世橋	天井仕上げ材破損、外壁ひび割れ	
17	請戸分館	大字請戸	津波により流出	
18	大堀分館	大字小野田	天井仕上材破損 建具破損 外壁破損落下 床破損	
19	苅野分館	大字苅宿	天井仕上げ材破損、外壁ひび割れ	
20	津島活性化センター	大字下津島	天井蛍光灯落下、建屋のズレ	
21	津島公民館分室	大字下津島	天井仕上げ材破損	

### 03 区域外就学の状況

文部科学省は、平成23年4月14日付けで「平成23年度東北太平洋沖地震における被災地域の児童生徒等の就学機会の確保について（通知）」により、通常よりも簡素化・弾力化された転入学手続きに基づいて学校が早く決まるよう助言や相談を行った。その結果、福島県内及び県外の小・中学校における4月の入学式・始業式に間に合い、学校生活をスタートさせることができた。

■ 図表 区域外就学の状況（平成23年9月1日時点）

区分	学校名	在籍者数	避難先											H23.3.11 在籍者数
			福島県内									福島県外		
			二本松市	福島市	本宮市	桑折町	郡山市	いわき市	その他	計	比率(%)		比率(%)	
小学校	浪江小学校	530	59	75	9	2	21	35	79	280	52.83	250	47.17	529
	うち浪江小学校	16												
	幾世橋小学校	110	7	32	1	1	1	3	16	61	55.45	49	44.55	113
	うち浪江小学校	0												
	請戸小学校	83	4	13	0	0	1	6	11	35	42.17	48	57.83	83
	うち浪江小学校	0												
	大堀小学校	148	21	20	4	0	9	8	12	74	50	74	50	145
	うち浪江小学校	5												
	苅野小学校	177	28	25	5	1	5	12	26	102	57.63	75	42.37	178
	うち浪江小学校	8												
	津島小学校	49	12	18	2	0	3	0	7	42	85.71	7	14.29	49
	うち浪江小学校	0												
	計		1,097	131	183	21	4	40	64	151	594	54.15	503	45.85
うち浪江小学校		29												
中学校	浪江中学校	391	107	56	4	0	10	20	43	240	61.38	151	38.62	385
	うち浪江中学校	35												
	浪江東中学校	183	9	46	0	0	8	15	23	101	55.19	82	44.81	191
	うち浪江中学校	2												
	津島中学校	32	10	10	1	0	2	0	1	24	75	8	25	32
	うち浪江中学校	0												
計		606	126	112	5	0	20	35	67	365	60.23	241	39.77	608
うち浪江中学校		37												
合計		1,703	257	295	26	4	60	99	218	959	56.31	744	43.69	1,705

## 04 二本松市における学校開設

平成23年5月から、二次避難所から仮設・借上げ住宅への再移動に際し、多くの児童生徒の転校などの事態が生じた。この時点で各学校における転入生の受け入れは一杯の状態、転校先を確保することは困難な状況であった。このような中、義務教育就学機会の確保を図るため、二本松市教育委員会の全面的な協力を得て、第2学期から浪江小学校・浪江中学校の開設を実現することができた。また、平成26年4月には津島小学校も開設された。

### ■ 二本松市における小学校・中学校の所在地

浪江小学校 (旧下川崎小学校) 二本松市下川崎字三島台1  
津島小学校  
浪江中学校 (旧針道小学校) 二本松市針道字堤崎25

## 05 児童・生徒の心のケア

不慣れな避難生活の長期化と学習環境の大きな変化の中で、不安やストレスを抱えている児童や生徒、その家族に対し、5月1日から3名のスクールカウンセラーを委嘱し、養護教諭や管理職がチームを組み、問題解決に取り組んだ。

福島県でも4月4日からスクールカウンセラー1名を浪江中学校に、8月26日からスクールソーシャルワーカー1名を浪江小・中学校に配置し、さまざまな相談等に対応した。

## 06 学習支援の取り組み

4月から福島大学の「東日本大震災教育支援プロジェクト」によるボランティア活動が始まり、5月には土湯温泉などの二次避難所での学習支援活動が展開された。

11月からは、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター子ども支援本部が中心となり、福島大学の学生ボランティアやNPO法人「ビーンズふくしま」、NPO法人「MPI」が加わり、浪江町教育委員会が連携して、二本松市、福島市、本宮市など6カ所の仮設住宅の集会所で「遊びと学び教室」を開催した。また、受験を控えた中学生の保護者からの要望もあり、東京から参加しているNPO法人「MPI」の協力で日曜日も3カ所の仮設住宅において学習支援も行った。

### ■ 図表 主な支援団体

団 体 名			
福島大学	NPO法人「ビーンズふくしま」	NPO法人「MPI」	NPO法人「JIN」

## 07 子育て支援の取り組み

避難生活による母子のストレスの軽減を目的として二次避難先である二本松市と福島市で子育てサロンを開設した。

サロンでは、町保育士が常駐し預かり保育を行ったほか、保護者からの避難生活による子どもとの向き合い方などの子育て相談などに応じた。

■図表 子育てサロンの開設状況

場 所	期 間	利用者数（のべ人数）
二本松市（岳温泉）	平成23年4月21日～平成23年8月6日	380人
福島市（土湯温泉）	平成23年5月23日～平成23年8月5日	940人

## 08 スポーツ大会

浪江町の代表チームは、長期避難を余儀なくされ、思い通りの練習もままならない中、浪江町民に大きな勇気と活力、感動、そして絆の大切さを与えてくれた。

■図表 平成23年度に開催された主なスポーツ大会

大会名	日 時	開催場所	結 果
第5回福島県市町村対抗軟式野球大会	10月15日	福島市内	準優勝 決勝：1対2福島市
第23回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	11月20日	白河市総合運動公園陸上競技場～県庁	総合：27位 町の部10位（3年連続入賞）

